

東京新聞 8月10日付「野田氏が政権構想」

# 野田氏が政権構想

## 消費増税「覚悟持つて実現」

民主党代表選に出馬 改革の実現に取り組む意向を固めた野田佳彦財務相が十日発売の月刊誌「文芸春秋」で発表する政権構想が九日、明らかにされた。財政再建を「未来への責任」と指摘し、消費増税を含めた税制

改革の実現に取り組む決意を表明している。野田氏は、政府・与党が消費税率を「二〇一〇年代半ばまでに段階的に10%」と決めた六月の社会保障と税の一体改革案について

「覚悟を持つて実現していく」と強調。社会保障制度の財源を安定させることで「雇用、消費の拡大を促し、経済成長につながる」としている。

原子力行政では、原発依存度の引き下げを

主張する一方で、「少なくとも二〇三〇年までは技術の蓄積が現実的」と指摘。稼働中の原発全基が来年四月までに定期点検のため停止するとして、現在停止中の原発も含め「安全性の徹底的な検証」を条件に、再稼働の努力をすることが最善の策だとしている。

日本の原発輸出に關しては「短兵急に止めざるべきではない」と表明。唯一の被爆国として原子力の平和利用技術を蓄積してきたことや、新興国を中心に原発の需要が高いことを挙げ、原発輸出を日本の国際貢献の一つと位置づけている。

代表選出馬の意思は明示していないが「財務相として産業、雇用の空洞化回避、経済再

生に重点を置いて必要な政策を懸命に進めてきた」と実績をアピール。「時機が来れば先頭に立つ覚悟だ」と意欲をにじませている。

東京新聞 8月12日付夕刊「ちゃぶ台返すな」

## 増税反対派を野田氏けん制「ちゃぶ台返すな」

野田佳彦財務相は十二日午前の記者会見で、菅直人首相の後継を選ぶ民主党代表選で争点に浮上している増税問題に關し「政府・与党でまとめた社会保障・税一体改革の成案がある。ちゃぶ台返しはあつてはならない」と述べ、増税反対派をけん制した。

一体改革の政府・与党案では、消費税率を段階的に10%まで引き上げると明記した。野田氏は「いろいろな意見はあると思うが、どんな内閣でも先送りできないテーマという共通認識のもとで、具体的に議論すればいい」とも述べた。